



熊本洋学校で教師ジェーンズの薫陶を受け、
花岡山でキリスト教を奉じ

この教えを日本全国に宣布しようと結盟し、
その後「熊本バンド」と呼ばれた青年たち。

日本におけるキリスト教プロテスタントの
源流の一つとなった「熊本バンド」の
結盟150周年を記念して、
早天祈祷会を開催します。

熊本バンド 結盟 150周年記念

■奨励 同志社揺籃期と熊本バンド



八田 英二 氏
学校法人同志社総長・理事長

【プロフィール】

現職：学校法人同志社総長・理事長 一般社団法人大学
監査協会副会長 公益財団法人日本学生野球協会会長
公益財団法人日本高等学校野球連盟最高顧問 一般社
団法人キリスト教学校教育同盟理事 他
学位：Ph.D. (University of California, Berkeley)、名誉文
化博士 (Amherst College)
学歴：同志社大学経済学部卒業 同大学院経済学研究
科修士課程修了
University of California (Berkeley), Ph.D. コース修了

早天祈祷会

2026年1月30日(金)6:30～7:30

場所／花岡山山頂 (※雨天決行)

熊本バンド奉教之碑前

LIVE

※YouTubeにて、LIVE配信をいたします。
※祈祷会を憶えて献金をお願いします。

※LIVE配信・献金方法の詳細は、
熊本YMCAホームページよりご確認
ください。

熊本YMCA

検索



特別講演会

2026年3月20日(祝・金)14:00～19:00

場所／熊本草葉町教会

第一部 講演会 (14:00～16:30)

講演者 小崎 眞 氏、岩井 善太 氏

講演会参加費 無料

第二部 茶話会 (17:00～19:00)

茶話会参加費 2,000円

●お問合せ 熊本バンド150周年記念行事实行委員会事務局(熊本YMCA) TEL096-353-6397

●共 催 学校法人同志社



前の週の1/24(土)に、熊本バンドゆかりの地である花岡山の清掃活動が行われます。併せてご参加ください。

＊熊本バンドとは…

1876年1月、熊本洋学校の学生有志は、キリスト教によって人心の改革をはかろうと熊本の花岡山に登り、キリスト教信仰の誓約書を交わすが、このことが知れわたり、誓約に参加した青年たちは家族からも迫害を受け、洋学校は廃校に。青年たちはジェーンズの依頼で開校直後の同志社にあずけられることになった。1879年に同志社を卒業した第1期生15人は、全員が熊本バンドであった。新島を手こずらせた奔放不羈な彼ら熊本バンドではあったが、しかし一方で、徳富蘇峰、金森通倫らを中心に、新島の同志社大学設立運動を助け、同志社の自由な校風をつくっていく。歴代総長（当時社長）を見ても、小崎弘道(第2代)、横井時雄(第3代)、下村孝太郎(第6代)、原田助(第7代)、海老名弾正(第8代)と、昭和に至るまでこの熊本バンドの出身、またはゆかりの英傑たちが名を連ねる。

(同志社大学ホームページより)

奉教趣意書（口語訳）

我々が、キリスト教を学んだところ、大変教えられるところがあった。以後、これを学べば学ぶほど喜びが得られる。そこで、このキリスト教を日本の国中に伝道し、文明を知り文化を得てほしいと考えるに到った。

しかしながら、キリスト教の深い真理を知らずして、古い伝統と習慣にしばられている人々が少なくない。我ら新しい真理を知った者として、この真理を知らない人々の現状を見るに、いたたまれないもどかしさを感じる。この際、我ら、新しい大きな使命をになう青年は、一大決心をし生命がけでキリスト教が公明正大な宗教であることを、明確にしてゆかねばならない。この決意の実行に、我々はもっとも力を尽くすつもりである。

そこで志を同じくするものが、花岡山に登り、一致協力してキリスト教の信仰を守ってゆくために、次の約束をする次第である。

1. キリスト教を信じる者は、お互いに兄弟としての交わりをもち、生活全般にわたって、互いに戒めあい忠告しあいながら、良い行いを実行しなければならない。
2. いったん、キリスト教の信仰を持ちながら、信仰にふさわしい生活ができない者は、神をあざむくことになる。また、自分自身の心をもあざむくことになる。こうした者は、必ずや神の罰を受けることを知らなければならない。
3. 今日、我が国の多くは、キリスト教を拒否している。それ故に我らの内、たとえ一人でもキリスト教をすてる者は、世間の物笑いになるだけでなく、我らのせつかくの決意をもふみにじり、実行不可能にしてしまう。ともども、努力しようではないか。

1876年1月30日 日曜日 記す